施策評価調書(29年度実績)

					施策コード -	2 - (4)
功等休亥	施策名	商業の活性化とサービス産業の革新	所管部局名	商工労働部	長期総合計画頁	101
政策体系	政策名	多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保	関係部局名	商工労働部		

【 . 主な取り組み】

取組		
取組項目	多様化するニーズに対応した 商業・サービス業の振興	県産品の販路開拓·拡大による物産振興

【 .目標指標】

指 標	関連する	基	準値	29年度		31年度	36年度	目標達成度(%)					
7日 1 宗	取組	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
サービス産業の労働生産性(万円/人)		H23	309	317 (H27)	365 (H27)	115.1%	317 (H27)	345 (H32)					
県の施策により1人当たり労働生産性が前年度比2% 以上向上したサービス産業関連企業数(社)		H25、26 平均	30	39	42	107.7%	45	60					

【 . 指標による評価】

評価		理 由 等
	達成	各商店街で行う個店の魅力アップの支援や観光関連産業を対象とした人材育成のためのセミナー開催、県産品の商談会やフェアの開催により、生産性向 上を図ったことで、目標値を達成した。なお、H29年度実績値は、H28年経済センサス活動調査結果(H27実績をH28に調査)を記載。
	達成	販路開拓や商品の改良等、生産性の向上につながる取組を積極的に支援したことにより、目標値を達成した。

平均評価

達成

. 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	・各商店街における個店の魅力アップを支援することにより、商店街の個店同士の連携強化や売上向上が図られた。 ・宿泊業の次期経営者等を対象とした経営人材育成講座に加え、現場リーダー育成講座を実施し、各部門の人材育成を図った。また、業務効率化に取り組む講座受講企業に対して支援を行うことにより、生産性向上の取組を推進した。
	・大都市圏等から特定のテーマ毎にバイヤーを招〈ターゲット別マッチング商談会を開催し、取引機会の創出だけでな〈、商品改良に向けた意見を得る機会を創出することにより、県内メーカーのレベルアップを図った。・大分フェアをスーパー等と開催し、県産品の県外へのPRができた。

. 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト	事務	主要な施策の	
		(千円)	総合評価	30年度の方向性	成果掲載頁
	がんばる商店街総合支援事業	20,400	Α	終了	149
	サービス産業生産性向上支援事業	27,965	С	継続・見直し	150
	県産品販路開拓支援事業	25,077	Α	継続・見直し	151
	フラッグショップ活用推進事業	47,803	Α	継続・見直し	152

(. 施策に対する意見・提言)

第7回「安心·活力·発展プラン2015」推進委員会(H29.10)

・大分県は観光にも非常に力を入れていて観光客数はかなり高水準だが、残念ながら1人あたりの観光消費額は非常に少ない。やはり観光消費を上げる一番は、夜のイベント、ナイトライフを増やして宿泊数を増やすということが重要。もう一泊したいというような気持ちをつくっていくことが大事。

第8回「安心·活力·発展プラン2015」推進委員会(H30.2)

・最近、東京では九州という一括りのものに対して非常に魅力を感じていて、大分県はまず九州ナンバーワンを目指すのがよいのではないかという話を聞いた。 県産品の福岡での販路開拓をしっかりと支援していただきたい。

. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
А	・地域住民の生活を支える商店街の取組に対する支援に加え、国内外からの観光客をターゲットにした域外消費型の商店街に対して重点的に支援を行う。 ・国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、ラクビーワールドカップ2019等の大規模イベントを控え、観光誘客による県経済への波及効果を高めるため、付加価値向上の取組を加速する。 ・物産振興では、引き続き大都市圏バイヤーと県内メーカーとの適切なマッチングによる商談成約率の向上を図るとともに、マーケットに対応した商品づくりのため、おおいた食品産業企業会と連携して商品改良支援を実施する。